

KEIZAI R E N

情報10

● 2021.10 ● NO.1285

安全・安心・新鮮でおいしい静岡県産の農畜産物をお届けします。

インターネットを取り巻く状況と JAタウンについて



▲メインピクセル：JAタウンの本店ショップ(しずおか「手しお屋」)

main topics

インターネットを取り巻く状況とJAタウンについて・・・01

topics&news

- 県産いちごの販売戦略などを決定
静岡県いちご協議会総会を開催03
- 静岡県レタス協議会
販売報告会と総会を開催03
- 乾椎茸の入札会
第2回静岡県現地特別入札会を開催04
- コロナ禍での新たな商談
バーチャルエキスポに出展04
- 2021JA-SS笑顔満タン!
ありがとうキャンペーン抽選会04

最新研究紹介

ミカンが捨てられた場所に出没するイノシシ成獣を
箱わなで捕獲する技術05

輸出レポート

.....07

お知らせ

- 生産資材部からのお知らせ08
- テレビ番組のご紹介09
- 静岡県車輛サービス株Web予約キャンペーン...10
- 本会子会社の株式譲渡に関するお知らせ...10



▲静岡県いちご協議会総会(上)／静岡県レタス協議会総会(下)



インターネットを取り巻く 状況とJAタウンについて

I はじめに

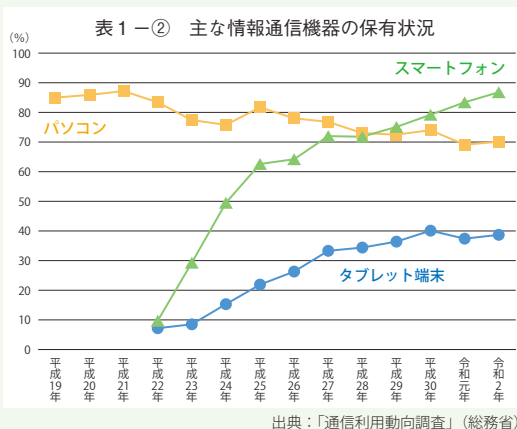
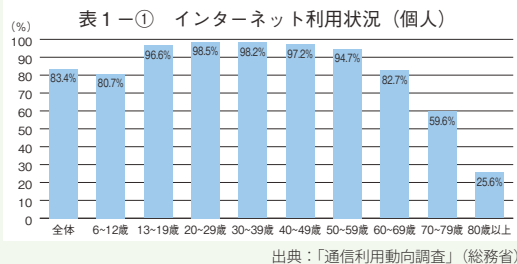
本会は「JA静岡経済連3か年計画」の基本目標として「農業の飛躍的な拡大」に取り組んでいます。今回のメイントピックスではその一つとして本会が取り組む「インターネット販売」について、インターネットの利用動向やコロナ禍の影響などと併せてご紹介します。

II インターネットの利用動向

1. 利用状況

インターネットの利用率は国内

全体で83.4%となり、特に13歳から59歳の各年齢層では90%を超えています。主な情報通信機器の保有状況は、パソコンが70%ほどで推移しているのに対して、スマートフォン

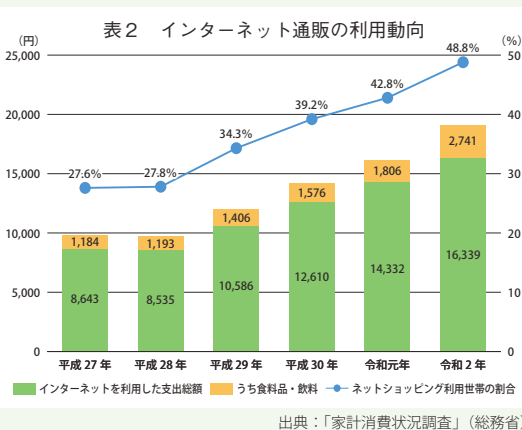
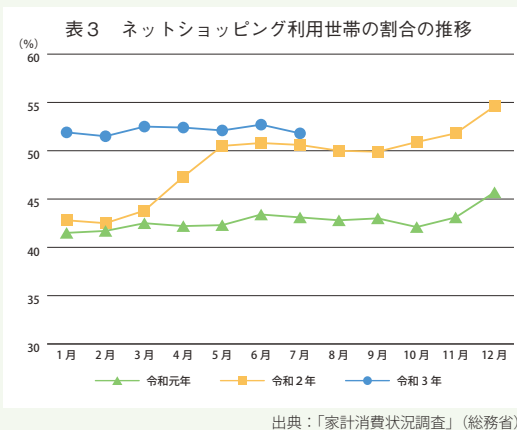


2. コロナ禍による影響

コロナ禍で感染症対策として人との接触を減らすことが推奨されていることを背景に、オンラインでの商品注文・購入など自宅で行える非接触型サービスの利用が伸びています。ネットショッピング利用世帯の割合

は86.8%となっています。タブレット端末は40%ほどとなっています。（表1-①、②）

インターネットを利用した1世帯当たり1か月の支出は増加傾向にあり、食料品と飲料の支出は、昨年コロナ禍の影響を受け、大幅に伸長しています。（表2）



の推移をみると、令和元年は40%ほどで推移していましたが、令和2年3月以降に急速に増加し、その後は50%ほどの割合で推移しています。（表3）

III JAタウンについて

JAタウンとは、JA全農が運営する国産の農畜産物にこだわったインターネットショッピングモールで、平成13年に開設され、本会を含め全国のJAなど121店がショップとして出店しています（令和3年9月16日時点）。JAタウンでは、商品を販売するだけでなく、SNSなどを活用した情報発信や、利用客からの商品レビュー投稿機能を備えています。また、「産地直送」にこだわりの購入した商品は出荷元から直送で利用客に届く「産直システム」を活用しています。

IV 本会の取組

1. しずおか「手しお屋」について

しずおか「手しお屋」は、本会が平成19年にJAタウンに出店しました。本会ブランド商品をはじめ、県内産にこだわった商品を販売しています。商品のラインナップは様々で、野菜や果物、お米、お肉などの農畜産物をはじめ、お茶や農産加工品、飲料など常時200アイテムほどを販売しています。その内、70アイテムほどは県内JAから旬の農産物などを出品していただき販売しています。

2. 手しお屋の取組紹介

① 企業間取引

手しお屋では、企業で開催するキャンペーンのプレゼント賞品の受注・発送業務を承っています。企業への賞品提案推進と賞品としてご利用

用いただける贈答向け商品の取扱推進に取り組んでいます。

②協同組合間提携
手しお屋では、農産物の他に協同組合間での提携として静岡県漁業協同組合連合会と連携し水産物を取り扱っています。本県は水産業も盛んであることから、漁業との連携により本県の魅力を発信しています。

③農林水産物販売促進緊急対策事業
手しお屋では、コロナ禍の影響で消費が低迷する農畜産物の販売を支援するため、県と協力して事業に取り組む、販売促進キャンペーンを行いました。キャンペーンの結果については表4のとおりです。

令和2年5月から6月には、「バイ・シズオカ」企画として、対象商品を最大30%引きで販売するキャン

ペーンを実施しました。前年同時期に比べ4倍以上の注文となりました。

令和2年12月から令和3年2月には、「買って食べて応援! しずおかのごちそう」キャンペーンを実施し、対象商品を送料無料で販売しました。対象商品の企画には旅行誌編集者やテレビ局アナウンサーら女性有識者が加わり、商品選定会議を行いました。

表4 キャンペーン結果

	注文数		
	前年同時期	キャンペーン期間中	増加率
バイ・シズオカ (R2.5-R2.6)	2,007件	8,720件	434%
しずおかのごちそう (R2.12-R3.2)	1,449件	5,593件	386%



▲JAタウン：しずおか「手しお屋」



▲通年取扱商品の例



▲旬の農産物の例

V おわりに

本会は「JA静岡経済連3か年計画」の基本目標である「農業の飛躍的な拡大」の戦略として「販売力強化に向けた効果的な取り組みと事業提案・支援」に取り組んでいます。JAタウンでは魅力あるサイト作りやショップ認知度向上の施策に取り組みとともに、商品提案力の強化により企業間取引の拡大を図ってまいります。ご紹介した「手しお屋」ショップへの商品出品のご相談やネット通販に関して御用の際はぜひ

した。結果は前年同時期に比べ約3.8倍の注文数となりました。

令和3年4月から令和4年1月末までの期間、「絶品しずおか」キャンペーンとして、対象商品を20%引きで販売しています。



▲JAタウン：しずおか「手しお屋」はこちら

もっと楽しく美味しいニッポン
JAタウン
www.ja-town.com

しずおか手しお屋 🔍 検索

連絡先

●営業部 流通開発課

電話：0541-2841-9728

●JAタウン：しずおか「手しお屋」

HP：https://www.ja-town.com/shop/c/4301

ひで連絡ください。皆様方のご利用を心よりお待ちしております。

県産いちごの販売戦略などを決定 静岡県いちご協議会総会を開催

9月24日、静岡県いちご協議会(事務局・野菜花卉課)は、県農業会館で「静岡県いちご協議会総会」を開き、生産者と県やJ・A・本会関係者ら45人が出席しました。新型コロナウイルス感染症拡大の対策として、生産者とJ・Aの参加者はリモートでの参加となりました。

総会では、令和2年度の事業について報告され、令和3年度の事業計画や販売戦略などを協議、収支予算や役員といちご娘の選出などすべての議案が承認されました。

令和2年度の県産いちごの状況について、生産面では定植時期の遅れがあったものの出荷開始以降は気候に恵まれ生育は良好、販売面ではコロナ禍で業務需要は減少したものの一般消費に支えられ前年並みの販売となりました。

令和3年度の事業計画では、新たな生活スタイルへの対応としてウェブを活用したネット販売や効果的な消費宣伝によるPRを検討・実施し、有利販売と農家



▲静岡県いちご協議会飯田寿夫会長(右)



▲ウェブ参加者らによる議案の採決



▲ウェブ開催となった総会

所得向上に努めることを決定しました。また、消費宣伝事業として昨年に引き続きタレントの池田美優さん(みちよばさん)を起用し、WEB広告やSNSなどを利用した情報発信を行います。販売目標は、年間出荷数量5,000トン、販売金額67億5千万円としました。

静岡県レタス協議会 販売報告会と総会を開催

9月27日、静岡県レタス協議会(事務局・野菜花卉課)は、県農業会館で販売報告会と総会を開催し、生産者と県やJ・A・本会関係者らが出席しました。新型コロナウイルス感染症拡大の対策として、生産者とJ・Aの参加者はリモートでの参加となりました。

販売報告会では、事務局より令和2年度の静岡レタス「うまレタ」販売経過について、東京事務所よりコロナ禍での消費地情勢と取組について報告しました。また京浜地区の市場担当者らがリモートで参加し、県内の参加者との意見交換を行いました。

総会では、令和2年度事業報告、令和3年度事業計画と収支予算、販



▲挨拶する森一弥前会長(左2人目)



▲新役員として選出された静岡県レタス協議会北川英行会長(右1人目)



▲参加者による議案の採決

売戦略などを協議、新役員の選出などすべての議案が承認されました。令和2年度は、生産では好天に恵まれ順調な出荷となりましたが、販売ではコロナ禍で業務需要を中心に影響を受けました。消費宣伝ではコロナ禍での対応として、レシピブログの実施やPR動画を制作しました。令和3年度の事業計画では、新たな生活スタイルに即した宣伝活動の実施に加え「うまレタ」ブランドの確立として異業種との連携や他県との共同宣伝などを実施し農家所得向上に努めることを決定しました。販売目標は、年間出荷数量13,000トン、販売金額30億円としました。

乾椎茸の入札会

第2回静岡県現地特別入札会を開催

9月15日、令和3年度第2回静岡県現地特別入札会（主催：J A全農椎茸事業所、事務局：野菜花卉課）が開催され、J A伊豆の国から乾椎茸392点が出荷されました。

本入札会は、春の開催に次いで今年度2回目の開催となり、今回も乾燥具合や色目ともに良い品質のものが出荷されました。

コロナ禍で需要動向が心配されている中、年末に向けての積極的な買入れもあり相場は保ち合いとなりました。また、上位品の引き合いが強くなり、最高値となった7,890円/kg（規格：花どんこ）をはじめ高値で落札されました。



コロナ禍での新たな商談

バーチャルエキスポに出展

9月14日から16日まで、茶業課と流通開発課は、「Japanese Food & Restaurant Virtual Expo 2021」に出展し、静岡茶をアメリカ合衆国（ニューヨーク、ロサンゼルス、ハワイ）のバイヤーに紹介しました。

本エキスポは、共同貿易株式会社为主催で例年実地開催されていましたが、本年はコロナ禍での新たな取組として昨年に引き続き、バーチャルエキスポとして実施されました。バーチャルエキスポプラットフォームを使用し、来場者が出展社のブースをウェブ上で訪問、各出展社は会社案内と商品動画を画像で紹介しました。来場者は期間中で120社、

計8千人以上となりました。本会は、静岡茶の「淹れ方」と「水出し茶」について動画紹介をしました。また、各日チャットタイム

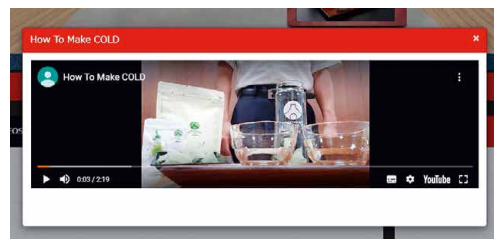


▲Japanese Food & Restaurant Virtual Expo 2021



▲本会のブース

茶業課は「コロナ禍で対面での商談会の開催が難しい中、今回のようなウェブ商談会を活用し、静岡茶のPRと更なる拡販に繋げていきたい」と意気込みました。



▲動画でお茶の淹れ方を紹介

2021JA-SS笑顔満タン！ ありがとうキャンペーン 抽選会

9月22日、総合エネルギー課は県農業会館で、鎌野厚常務理事をはじめ関係者の出席のもと、「2021JA-SS笑顔満タン！ありがとうキャンペーン」のプレゼント抽選会を行いました。

抽選会では、特選和牛静岡そだちや静岡県産オールスモロンなどの当選者計245人を抽選しました。

キャンペーンは、8月1日～8月31日の1か月間、県内のJA-SSで税込3,000円以上を購入したレシートで応募するもので、昨年度から従来のハガキ応募に加えWEBからの応募を実施しています。全12,647通の応募のうち20%以上となる2,825通がWEB応募となり、同課では今後

もWEBを活用したキャンペーンの展開などを予定しています。



くらし支援部総合エネルギー課からのお知らせHP
<https://energy.ja-shizuoka.or.jp/>

ミカンが捨てられた場所に出没する
イノシシ成獣を箱わなで捕獲する技術

一 はじめに

令和元年度の野生鳥獣による農作物被害額は全国では約158億円、このうち静岡県では約2億9千万円となっています。当県の被害額は、最も多かった平成21年度の約5億4千万円をピークに直近10年間は減少傾向ですが、依然として大きい被害が発生しており早急な対策が求められています。令和元年度の県内の獣種別の被害を見ると、イノシシが全体の約47%を占めており、最



写真1 イノシシがミカンを加害した痕跡
(果実がもぎ取られ、ヘタ部分が残る)

も大きな被害を与えています。

イノシシの被害対策の一つとして、現地で箱わなによる捕獲が行われています。

今回の記事では、イノシシの加害を受ける農作物の中でも被害が大きいミカン産地で箱わなによる捕獲技術について紹介します(写真1)。

二 イノシシの繁殖時期及び
個体数を減らすための捕獲

イノシシは晩秋から冬にかけて交尾を行い、5月から6月頃に出産のピークを迎え、平均4頭から5頭の子を出産します。産まれた幼獣のうち、約半数が成獣になると言われています。また、上記の時期に出産できなかつたり出産したがすべての子供が死亡した場合は春から夏にかけて再び発情期を迎え、秋に出産することもあります。

出産のピークが5から6月であること、幼獣は成獣に比べて死亡率が高いこと、春に産まれた幼獣を捕獲しても成獣が再度出産する可能性が

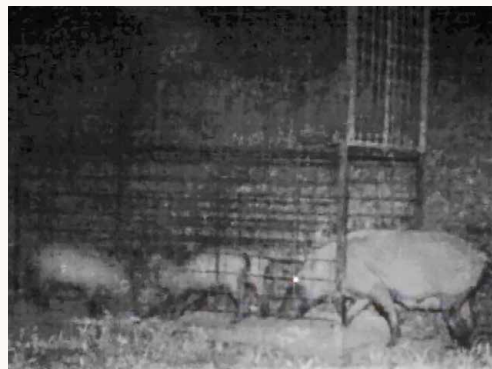


写真2 箱わなに対する警戒心の違い
(奥:幼獣、入り口:成獣)

あることを考慮すると、イノシシの個体数を減らすためには5月以前に成獣を捕獲することが重要となります。しかし、これまでの研究でイノシシの成獣は幼獣に比べて警戒心が強く、箱わなに入りにくいことが分かっています(写真2)。

三 冬に捨てられたミカンが
イノシシに与える影響

ミカン産地ではミカンを出荷する11から4月に、出荷調製の際に生じ

る商品価値の無い果実が山に捨てられるケースが見られます。ミカンが捨てられる期間はイノシシにとってエサの少ない時期である冬から春先であり、通常、この時期のイノシシは栄養価の低い木の根などを食べて飢えを凌ぎます。しかし、冬に栄養価の高いミカンがエサとして供給さ



写真3 捨てられたミカンを食べるイノシシ

私が紹介します!



静岡県農林技術研究所
森林・林業研究センター
森林育成科 上席研究員

水井陽介

れることは通常であれば餓死するはずの個体が生き残ることや出産する子供の数が増えることに繋がる可能性があります。また、イノシシは一度ミカンの味を覚えるとその味に強く執着することから、次作の被害を発生させる原因になります（写真3）。

四 ミカンが捨てられた場所にイノシシが出没する回数および箱わなによる捕獲

箱わなでイノシシを捕獲する場合、通常、箱わなの中と周辺にエサ

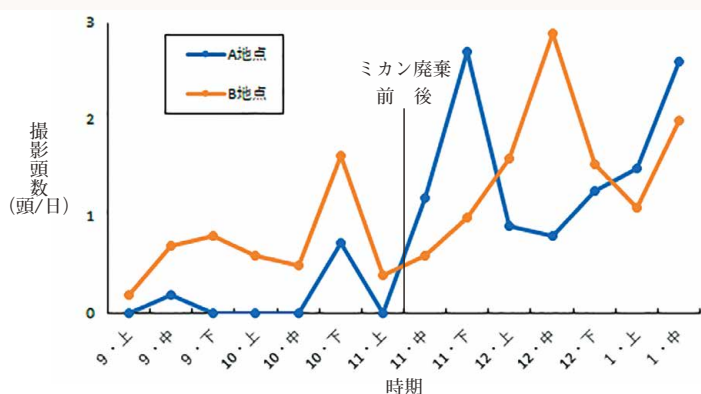


図1 ミカンの捨てられた場所におけるイノシシの撮影頭数



写真4 箱わなに捕獲されたイノシシ

を配置して誘引します。当センターでは、ミカンが捨てられた場所に出没するイノシシはミカンを繰り返し食べることでその味に対する執着が強まるため、箱わなのエサとしてミカンを利用すればイノシシを捕獲できると考えました。

ミカンが捨てられた場所にイノシシが出没する回数を調査するため、平成30年9月から6カ月間自動撮影カメラを設置したところ、ミカンが捨てられ始める11月上旬を境に、イノシシの撮影頭数が増加したことを確認しました。このことから、捨てられたミカンによってイノシシが出没する回数が増えることが分かりました（図1）。

また、平成30年3月2日からミカンが捨てられ始めた場所に箱わなを設置し、エサとしてミカンを箱わな

の中と周辺に配置しました。併せてイノシシが箱わなの中に長く留まるように箱わなの中に米ぬかを配置して捕獲を行いました。捕獲に取り組んだ結果、4月12日に成獣2頭、4月15日に成獣2頭を捕獲し、合計4頭（オス1頭、メス3頭）の成獣を捕獲することが出来ました（写真4）。

このことから、ミカンが捨てられた場所、ミカンと米ぬかを餌として箱わなを設置することで、イノシシの出産ピークにあたる5月より前に成獣を捕獲出来る可能性が示唆されました。

五 本技術による捕獲のメリットと注意点

本技術は農作業の一環であるミカン捨て作業を利用して実施するため、箱わなによる捕獲を行う際に必要な作業の一部（箱わなの設置場所の選択、定期的にエサを配置し、イノシシを餌付けする作業）を省略することが出来ます。また、ミカンに対する執着が強いイノシシを捕獲することになります。

捕獲を行う際の注意点として、誘引に用いるミカン以外は箱わなの周辺に捨てないことが重要です。また、警戒心が強い成獣が箱わなに入ってからわなが作動するように、蹴り系

式の箱わなではトリガーとなる糸を通常より高くして下さい（高さの目安は40cm）。

六 産地としての取り組み

本稿の内容は捕獲には有効な技術ですが、ミカン等を山に捨てることはイノシシ等の野生鳥獣のミカンに対する執着を強め、被害を拡大させる原因になります。被害を減らすためには、ミカンを適切に処分し、野生鳥獣に食べさせないよう心がけるとが大切です。労力等の問題で山にミカン捨てざるを得ない場合には併せて捕獲にも取り組み、ミカン好きなイノシシを増やさないよう、産地として協力していただきたいです。

本稿の内容は当センターのモノ他、YouTubeでも解説動画を配信しておりますので、参考にしていただければ幸いです。

(HP: <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-850/>)
 YouTube: <https://www.youtube.com/watch?v=3u1E3lBxVD4&t=10s>)

連絡先

浜松市浜北区根堅2542の8
 静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター 森林育成科
 EPR@pref.shizuoka.jp

輸出レポート

本会はアジア圏を中心とした輸出の拡大と、輸出先国の規制に対応した産地づくりに取り組んでいます。その中で、今回は全農輸出対策部、子会社であるJA全農インターナショナル(株)との取組内容を紹介します。

全農輸出対策部との取組

全農輸出対策部は全農が実施する輸出事業の内、海外からの情報を産地に繋げたり、販促の企画・提案、商談会、展示会への出展、輸送試験などを実施しています。

昨年度、本会と連携し、船舶輸送におけるいちごの鮮度保持輸送試験を実施しました。内容としては、本会の所有する鮮度保持コンテナ「futecc」(※1)の使用や、パレットごと(※2)にCA機能(※3)を持たせた、特殊こん包により、従来長期船舶輸送に不向きと言われてい



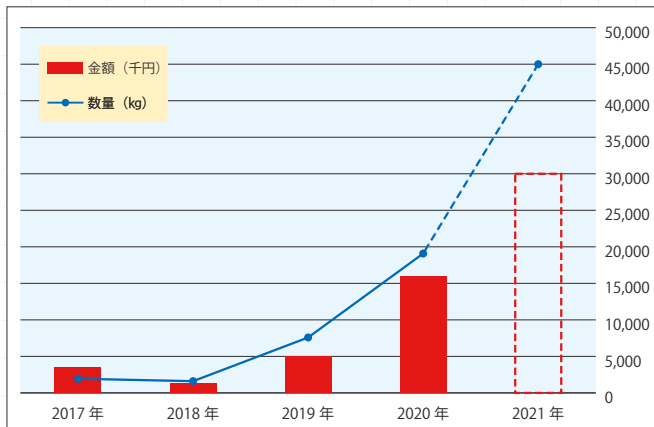
▲CA機能を有した特殊パレット梱包

(※1) futecc…温度調整機能について、2インバーター方式を採用し、その精度を飛躍的に向上させたコンテナ。どのような環境下でも温度ブレがほぼ無いことが特徴

(※2) CA機能…空素を充填させ庫内の酸素量を低下させることで、青果物の呼吸を抑え鮮度を維持する機能



▲全農インターナショナルグループ



▲本会における全農インターナショナル取引実績

JA全農インターナショナル(株)との連携

JA全農インターナショナル(株)は、旧(株)組合貿易の機能を母体とし、平成27年に設立された、全農の100

たいちごの鮮度保持について試験を行いました。コロナ禍における船舶遅延などもありますが、鮮度保持の観点ではまずまずの結果となり、今後も改良を重ね実輸出に繋げていきます。



▲全農鮮度保持試験の様子

%子会社です。本社を東京に置き、シンガポール、香港、台湾、イギリス、北米に事業所を有しています。効率的な物流体制構築などによる仕組みづくりを行い、国内産地から海外消費者までをつなぐ輸出ビジネスモデルを確立し、輸出事業に取り組んでいます。また、シンガポールにある全農インターナショナルアジアには、本会から駐在員が出向し、本県産品の販路拡大に努めています。

昨年度より、JA全農インターナショナル(株)とは本会の輸出計画を共有し、月に一度の定例会を通じ、情勢交換、商品提案等、輸出拡大に向けた協議を実施しています。また、

本年度、JA全農インターナショナル(株)は、静岡県事業を活用し、清水港を利用した輸出事業を展開しており、さらなる本会との連携拡大が見込まれています。

今後、JA全農インターナショナル(株)の販売力を活用し、静岡県産農畜産物の輸出拡大に努めます。

担当：営業部 流通開発課
(TEL: 054-284-9728)



▲シンガポール小売店での販売風景



▲香港小売店での販売風景

農業機械課からのお知らせ

担当：生産資材部 農業機械課 (TEL 054-622-3455)

静岡県JAグループ
令和3年 **農業機械紙面展示会** 開催！

実施期間 令和3年 10月1日～12月30日

こちらのQRコードを読み込んでいただき
Webカタログをご参照ください！

ラクラク閲覧!!
スマホで見れる!!
動画で見て確認!!

お得な農機情報
盛りだくさん!!
“オススメ機種”
満載!!

お問い合わせは、お近くのJA農機センターへ

期間中、県内JA農機センターにて対象商品をお買い上げのお客様に抽選で
「静岡美味しいもの」プレゼント!! 合計100名様

令和3年 実施期間 10月1日～12月30日

※画像はイメージです

10万円以上お買い上げのお客様 選べるギフト A賞 クラウンメロン 2玉 化粧箱入 20名 静岡そだち ロースステーキ 500g相当 国産うなぎ長徳焼 肝串付 140g×4尾 肝串4本 タレ・山椒・4袋付 伊豆下田産 金目鯛づくし しゃもじ(1～2人前)×1 湯引き刺身用(1～2人前)×1 一夜干し×1 かつおとろ×1 切干菜つけ×2	10万円未満のお買い上げのお客様 選べるギフト B賞 静岡そだち すき焼き用 肩ロース 400g相当 アローメロン 1玉 化粧箱入 いちご(紅ほっぺ) DX 2玉(118～300g) 1箱 10個～30個 三ツ日みかん 蜜 1～2Lサイズ 4kg 国産うなぎ長徳焼 80g×4尾(肝串・山椒・4袋付) 特別賞 40名 みかん果汁 70%ジュース みかん日和 1箱 190g×30本
---	--

※JA農業機械大展示会 運営協議会・幹事会の厳正な抽選による。
※当選は商品の発送をもって代えさせていただきます。

【営農ナビ】

イントラ版として情報発信していきます！

あぐりんく静岡からのお知らせ

県内JA限定

生産・事業推進に役立つ情報が満載!!

農産物安全分析センター

分析メニュー、申込書、分析フロー(手順)を掲載しています。分析の際はコチラから！

経済連肥薬通信

更新

経済連肥薬通信10月号

経済連コンサルタントによる技術情報

柑橘果樹情報

「柑橘」の記事紹介や栽培暦を掲載しています。

販売情報

東京、名古屋、大阪の青果・花卉の概況を掲載しています。

●イントラから利用できます。

～他にも、農畜産物別の情報なども充実～

担当：生産資材部 生産振興開発課 (TEL 054-284-9729)

テレビ番組のご紹介

担当：食糧部 食糧課 (TEL:054-284-9737)



「しずおかごはんが食べたい！」(テレビ静岡)

静岡県産米麦流通連絡協議会（事務局：食糧部）は、テレビ番組「しずおかごはんが食べたい！」（テレビ静岡・全11回放送）に協賛し、県産米のPRを行っています。

令和3年度の第5回目となった9月18日の放送では、お笑い芸人のフォーリンラブ・バービーさんが「静岡そだちコシヒカリ」を紹介しました。収録は磐田市と袋井市で行われ、JA遠州中央管内の生産者からのビデオレターを紹介し、静岡県産米のPRをしました。

今回の「しずおかごはんが食べたい！」は、藤枝市と島田市からオードリー・春日さんがJAおおいがわの「金芽米」を紹介します。放送予定は10月16日（土）の夕方5時となっておりますので、ぜひご覧ください！



▲生産者からのメッセージを紹介

▲「静岡そだちコシヒカリ」を味わうバービーさん

「ごちそうカントリー」(静岡第一テレビ)

静岡県のJAグループが制作する番組「ごちそうカントリー」(静岡第一テレビ・毎週日曜日午前11時40分～11時55分) 10月24日の放送は本会が担当となり「お米」を紹介します。紹介するのは令和2年度に本県の新しいブランドとして登場した「静岡そだちコシヒカリ」。

番組では、コシヒカリの生産者と本会職員らが出演し、静岡そだちコシヒカリの特徴やブランド化への取組について紹介します。放送は、10月24日（日）11時40分からとなりますので、ぜひご覧ください。



割引特典
早期予約
がお得!!

静岡県車輛サービス(株)の車検



Web予約キャンペーン

予約QR
コード▶



期間中にWebサイトからの車検予約で「国産うなぎ長蒲焼140g×2尾」が当たります。

さらに再抽選で、「ボックスティッシュ5箱」が当たります。

※画像はイメージです。プレゼントは景品法に基づき実施します。

キャンペーン期間

9月1日(水)～11月30日(火)

WEBからの車検予約11月30日までに入力された方が対象です。

抽選は12月中旬を予定しております。

スマホ予約で
当たる



国産うなぎ長蒲焼
(140g×2尾) 5名様

セカンドチャンス



ボックスティッシュ
(5箱パック) 50名様

割引
特典

初回車検割引 5,000円引

早期予約割引 車検満了日の2ヶ月前 2,000円引

1ヶ月前 1,000円引

お車持込 往復の持込・引取り 2,000円引

引取り割引 片道の持込or引取り 1,000円引



←浜松

袋井IC

静岡→

静岡県車輛サービス(株)



静岡県車輛サービス(株)

袋井市堀越461番地

TEL: 0538-42-6131

営業時間

8:30

▼

17:00

日曜定休



本会子会社の株式譲渡に関するお知らせ

本会は、子会社の静岡ジェイエイフーズ株式会社の全株式を、株式会社ミツウロコビレッジに譲渡することを決定しましたので、お知らせいたします。

1. 譲渡の経緯

本会は、平成14年、清水農業協同組合との共同出資により静岡ジェイエイフーズ株式会社を設立し、柑橘等を加工し販売する飲料加工事業を営んできました。以来、静岡ジェイエイフーズ株式会社は、製造能力の高さと優秀な技術力を背景に、各飲料メーカーからの信頼を得てまいりましたが、当組合の事業環境が変化している状況に鑑み、飲料受託製造の事業を継続発展させるため株式会社ミツウロコビレッジへの株式譲渡が適切であるとの判断に至り、株式譲渡を決定しました。

2. 譲渡する当組合関連会社の概要

(1) 名称

静岡ジェイエイフーズ株式会社

(2) 所在地

静岡県静岡市清水区庵原町34番地の1

(3) 代表者の役職・氏名

代表取締役社長高山英之

(4) 事業内容

茶・清涼飲料水・乳酸菌飲料・酒類の製造・加工・販売

(5) 資本金

1,690百万円

(6) 設立年月

2002年2月

(7) 大株主及び持株比率

静岡県経済農業協同組合連合会(17,200株/50.9%)
清水農業協同組合(16,600株/49.1%)

3. 譲渡の日程

株式譲渡契約締結 2021年9月17日
株式譲渡の実行 2021年11月1日(予定)

バイ・シズオカ
Buy Shizuoka! 静岡県

「おいしい」をありがとう。
「ごちそうさま」をありがとう。

買って
食べて
応援

絶品 しずおか

静岡の美味しさを食卓へ!
日本のほぼ真ん中に位置し、温暖な気候と豊かな大地、清らかな水に恵まれている静岡県より、
しずおかならではの多彩な**絶品**グルメをお届けいたします。

JAタウン **しずおか「手しお屋」**

キャンペーン
期間
2021年4月下旬
～
2022年1月末

期間中
対象商品

20%OFF

※補助金額が上限に達し次第終了になります。※対象商品は時期によって異なります。





しずおか 手しお屋 検索

お問い合わせ/JA静岡経済連 流通開発課 静岡市駿河区曲金3-8-1 TEL:054-284-9728
※電話注文は承っておりません

担当：営業部 流通開発課 (TEL:054-284-9728)

